

令和4年度 渋谷区立笹塚小学校 学校経営方針

校長 荒木 憲秀

【教育目標】

- 互いの違いを認め 高め合う子
- 主体的に学び 創造する子
- 心身をきたえ たくましい子

〈重点目標〉

変化の激しい時代をたくましく生き抜くために、主体的に学び、他者と協働して新しい価値観を創造し、自分の個性を伸ばすことのできる子供の育成を目指す。

【学校経営の基本方針】(3つの柱と取組目標、具体的な取組)

1. 健やかな心と体

- ・ 互いの違いを認め合い、思いやりをもって、自分も友達も大事にできる子供を育てる。
 - ➡ 日々の学級指導で互いのよさを見付け合い、温かな言葉をかけ合う風土を醸成する。
- ・ 子供一人一人の心に寄り添い児童理解に努め、組織でいじめや差別、不登校を防止・解決する。
 - ➡ 学年や生活指導部、SCや関係機関間で情報を共有し、未然防止、早期発見・解決に努める。
- ・ 考え、議論する「特別の教科 道徳」の時間を中心として、心の教育の充実を図る。
 - ➡ 道徳推進教師を中心として、道徳授業の充実やより効果的な評価の在り方を検討する。
- ・ 自分の体力や健康に関心をもち、日常的に運動に親しもうとする子供を育てる。
 - ➡ 運動能力調査結果の活用や笹リンピックの活性化、保健指導・食育指導の充実を図る。
- ・ きまりを守り、あいさつや返事がしっかりできる子供を育てる。
 - ➡ 返事・あいさつの徹底や廊下歩行等、生活指導と特別活動の両面からアプローチする。
- ・ 行事や学級活動などに主体的にかかわり、よりよくしていこうと工夫する子供を育てる。
 - ➡ 活動の事前指導・事後指導を充実させる。特別活動部を中心に、指導の充実を図る。
- ・ 日本および諸外国の歴史や伝統について知り、大事にしていこうとする子供を育てる。
 - ➡ 伝統文化体験を積極的に取り入れ、外国語(活動)とリンクさせ、発信する活動を行う。

2. 確かな学び

- ・ すべての子供に「聞く力」をしっかりと身に付けさせ、「学ぶ姿勢」を育てる。
 - ➡ 「聞く」ことは学びの基本。発達段階に応じた「聞く力」を確実に身に付けさせる。
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進、探求型の学びの充実を図る。
 - ➡ 相互参観を活性化させ授業改善を推進、また研究推進部を中心に校内研究を充実させる。

- ・協働的な学び、また個別最適な学びのツールとして、タブレットの一層の活用を図る。
 - ➡ 学習者用デジタル教科書やデジタル教材も含め、日々の学習の様々な場面でフル活用する。
- ・タブレットをはじめとした ICT 機器や情報を、正しく活用する力を育てる。
 - ➡ 学年の発達段階に応じた、デジタル・シティズンシップ教育を計画的に実施する。
- ・担任+1の人材や「まなび〜」等を活用し、児童の習熟度に応じた学びの充実を図る。
 - ➡ 習熟度別少人数指導や TT 指導の充実を図り、より個に応じたきめ細やかな指導を行う。
- ・特別な支援が必要な子供たちの学びを、様々な組織・人材を活用して支える。
 - ➡ コーディネーター・専門員を中心に、関係職員間・組織間の連携を強化し指導にあたる。
- ・発達段階に応じた英語活動や英語学習を充実させ、豊かな国際感覚を育む。
 - ➡ TGG や ALT も活用して英語専科による系統的な指導を行い、また国際理解推進も図る。
- ・学校図書館を活用して読書活動や調べ学習を充実させ、読む力や考える力を育てる。
 - ➡ 図書館専門員の専門性を生かした学習支援、図書ボランティアの活動の拡充を図る。

3. 地域の学校

- ・学校運営協議会を通じて教育活動を地域に開き、また地域の教育資源を有効に活用する。
 - ➡ 熟議のさらなる活性化を図るとともに、地域学校協働本部の活動を拡充する。
- ・「シブヤ科」の取組を通じて、渋谷シティプライド・笹塚タウンプライドを育む。
 - ➡ 校内研究の充実とも併せて、笹塚小版のシブヤ科・地域学習の基盤作り・充実を図る。
- ・各家庭としっかり連携して、基本的な生活習慣や家庭学習の定着を図る。
 - ➡ 保護者の不安には迅速に対応、またタブレットも活用した家庭学習習慣の定着を図る。
- ・近隣の幼稚園や保育園、中学校との連携を進め、切れ目のない学びの接続を目指す。
 - ➡ 幼保小・小中連携の、さらなる充実を図る。学びを意識した互惠性のある連携を目指す。
- ・学校を拠点として、地域の方々と共に安全・安心なまちづくりに取り組む。
 - ➡ 地域の自主防災組織の立ち上げに合わせ、連携を強化し防災教育や安全教育につなげる。
- ・学校だよりや学校ホームページの内容を充実させ、情報の発信・共有に努める。
 - ➡ HP や H&S での情報発信に力を入れ、地域・保護者にとって有益な情報発信を行う。
- ・働き方改革に取り組み、サービスの厳正に努め、地域に信頼される学校づくりを進める。
 - ➡ ICT も活用して校務改善を推進する。また計画的にサービス研修を実施し啓発を行う。